

◎第5学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	→ ・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○物語や説明文の内容の読み取りができていない児童が多い。 ●読み取った内容に対して、自分の考えや思いを文章で表現する力が弱い。 ●読み取った内容に対して、互いの考えを話し合うことに抵抗がある児童が多い。	・単元の導入の段階で、自分の考えや思いをもつことができるような学習課題を設定できるようにする。 ・ICTを効果的に活用し、自分の考えや思いを相手に伝え、それを基に話し合い、認め合う機会を多く設ける。 ・単元のまとめでは、話し合いにより深まった自分の考えや思いを表現できる場を作る。 ☆様々な考え方に触れられるよう、いろいろなジャンルの本や新聞を読む機会を増やしてください。そして、そこから感じたことを話し合ってみてください。	
社会	○日本の国土や産業に興味関心を持ち、学習に熱心に取り組む児童が多い。 ●複数の資料から取り出した情報を関連付け、他の課題を読み取ったり、解決策を考えたりすることが苦手な児童が多い。	・単元の導入で、日本の国土や産業について、自分なりの見方・考え方を交流し合うことで学習課題を作る。 ・学習課題を追究する中で、ICTを効果的に活用し、複数の資料から取り出した情報を比較・関連付けて考えを互いに深め合う授業を行う。 ・単元のまとめでは、既習した内容を基に、自分なりの解決策を考え記述させる。 ☆ニュースや新聞で話題になっていることを家庭でも話題にいただき、その国や地域が出てきたときに、一緒に地図帳などを見て確認してみてください。	
算数	○新しい学習課題について興味関心を持ち、意欲的に取り組む児童が多い。 ●自ら課題を見出し、それらの解決のために既習事項を生かして考えられる児童が少ない。 ●小数の基礎的な知識や技能が身に付いていない児童が多い。	・単元の導入では、自分の身近な生活をもとに問題を想起させ、意見交流しながら、学習課題を作る。 ・単元のまとめでは、学習内容を自分の生活との関わりで考え、記述させる。 ・全員一律の課題を提示するだけでなく、個別に課題を出していくようにする。 ☆宿題に出された問題や、テストで間違えた問題が正しく解けているか、見てあげてください。間違えている問題は教えてあげてください。	
理科	○植物の栽培や生き物の飼育などの体験活動を通して、生物を愛護し、生命を尊重しようとする態度が育まれている児童が多い。 ●予想や仮説を基に実験の方法や計画を考えるのが難しい児童が多い。	・自分の予想や仮説から実験の計画を話し合う時間を確保する。 ・実験の方法を選ばせたり工夫させたりしながら、自分で考えられるように指導する。 ☆理科で学習している内容を問いかけ、家族のみなさんが子供から説明を聞く時間を作ってみてください。子供は説明することで理科への関心が高まり知識が定着します。	
音楽	○積極的、意欲的に音楽活動に取り組む姿がみられる。 ●頑張りすぎてしまい、表現が乱暴になってしまう児童がいる。	・自分の演奏動画を撮影したり、鑑賞をしたりして演奏のよさを感じられるようにする。 ☆授業で扱った曲や、日常流れている音楽について話題にし、お子さんと一緒に楽しんでください。	
図工	○作るための行程を自分で考え、進めていく力がついてきている。 ●集中力が不足したり見通しがもてなかったりする児童もいる。	・制作の種類や共通する手法ごとにグループ指導を入れる。 ・制作活動の目指す仕上がりをしっかりイメージさせる。 ・必要に応じて個別支援の手立てをとる。 ☆授業で取り組んだ題材の楽しさや身に付けた技術について、お子さんの話を聞いてあげてください。また、日常生活で感じた美しさや面白いと思う気持ちに共感してあげてください。	
家庭	○学習に意欲的に取り組んでいる。 ●学校で学んだことを生活に活かそうとする児童が少ない。	・単元の導入で、日常生活の中から自分なりの問題を見出して、課題を設定していくようにする。 ・課題を解決する中で、ICTを効果的に活用するなどして、グループで試行錯誤できるようにする。 ・単元のまとめで、家庭と連携しながら、実践する機会を設けるようにする。 ☆学習したことを、実際に家庭で実践できるような課題を設けますので、励みになるような声かけをしてください。	
体育	○男女共に、意欲的に体を動かす児童が多い。 ●感覚的に体を動かしているため、動きのポイントを言語化できない。	・友達同士の見合う観点を定め、ICTを活用しながら客観的に自分や友達の動きを見て、課題を見つけたり、より良くするための方法を考えたりする。 ☆日頃から外で遊ぶように声をかけてください。また、休日などには、なわ跳びや鉄棒などで一緒に遊んであげてください。	
外国語	○ALTと行うチャンツや英語ゲームでは、楽しみながら積極的に活動することができる。 ●英語の単語は自信をもって発声できるが、文章になると自信をもって発声できる児童が少ない。	・スピーチや友達同士コミュニケーションをとる活動を積極的に取り入れ、自分のことについて伝えたい内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ☆学習した内容や単語、文章を問いかけいただき、励まし褒めてあげてください。	